



まっちライター レポート

大木町のヒト・モノ・コトを住民目線で伝えてくれる「まっちライター」。

今回も大木町の日々をレポートしてくれました。



9月26日の夕方、借りた本の返却に図書館へ行きました。入り口を見たら、久良木衣智子さんの「みんなの展覧会」が開催されていました。よく見ると、この日が最終日。返却して帰ろうと思っていましたが、2階まで行きました。

久良木さんとは、長男が生まれてから交流があり、以前、展覧会で展示されていることを聞いて「こんな特技があるのか」と驚いたのを覚えています。

今回は本人の作品だけでなく、子どもたちの作品も展示されていました。「青、黄色、緑の組み合わせが映えている」と思いました。写真は特に気に入った作品です。

次の週に図書館に行ったら、別の方の展覧会が行われていました。最近、図書館の2階まで行ってなかったのと思わぬ発見がありました。(石川)



11月9日、今年も「あまおう」の出荷が始まりました。令和6年度には、町内からJA福岡大城に約923トン(約15億円分)の「あまおう」が出荷されました。この実績こそ“いちごの町・大木”の底力です。

JA福岡大城いちご部会・大木地区長の熊丸剛くままるつよしさんは、「『あまおう』の品質を維持することは当然。前年の売上額を更新し、需要の高い時期にしっかり出荷できるよう、生産者全体で力を合わせています。」と笑顔で話してくれました。

9月の高温が影響し、2月以降の収穫量が減るおそれがあったため、苗を植える時期を少し遅らせたそうです。

「大木町はいちごの町だと知っている人は多いと思うが、もっといちごのことを知ってほしい」と熊丸さん。

「いちご作りはとても手間がかかる仕事ですが、時期によってはどんな力もありがたいので、もし機会があれば、ぜひいちご作りに関わってみてください。」と、地域への温かいメッセージを届けてくれました。(宮川)



新しい職員を紹介します(11月新規採用)

11月1日から大木町役場に2人の新たな仲間が加わりました。



かわぐち たくや
河□ 拓矢 (税務町民課)

町民の皆様信頼される職員を目指し、誠実な気持ちで日々の業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

いぬづか あいか
犬塚 愛佳 (健康課)

健康第一!笑顔全開!全力で皆さまへ元気と笑顔を届けます。よろしくお願いいたします。